

## 効果的な歯科保健事業の条件は？ ～歯科衛生士配置で 1.3 倍，関連機関との連携で最大 7.3 倍～

全国の市区町村を対象として，歯科保健担当者に調査を行い，過去 3 年間に有病率の減少や正しい知識をもつ者が増えたなどの効果がみられたと回答した 354 市区町村と，なかったと回答した 437 市区町村を対象として，効果的な事業の有無に関連する要因を検討しました。

常勤の歯科衛生士が配置されている市区町村は，配置されていない所よりも効果的な事業の実施が 1.3 倍多いことがわかりました。また，地域の団体や施設などと連携した事業を行っている市区町村は，その連携の種類数が多いほど効果的な事業を行っている所が多く，4 種類すべての機関と連携をしているところでは 7.3 倍多いという結果が得られました。

これらのことから，市区町村へ常勤の歯科衛生士を配置することや，住民，地域の歯科医師会，企業，地域包括支援センターや医療・介護・福祉施設などと連携をすることで，効果的な成人対象の歯科保健事業が推進されることが示唆されました。

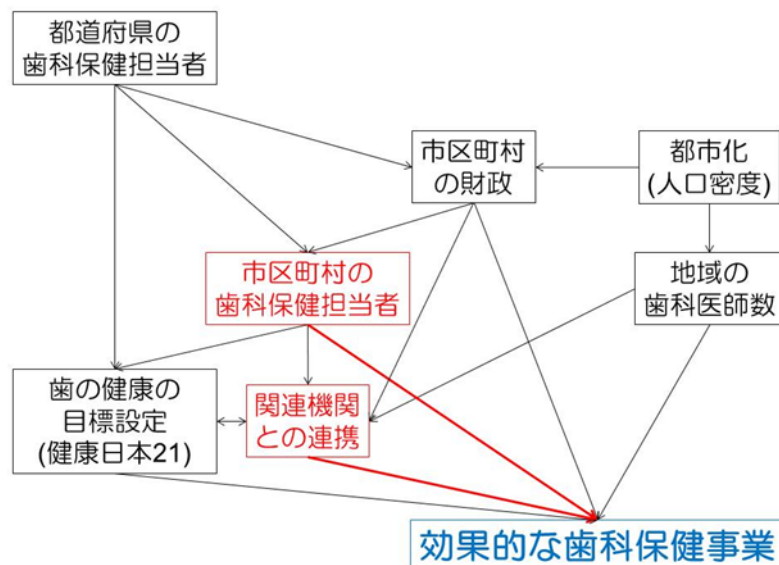


図 効果的な歯科保健事業と市区町村および都道府県の要因との関係の仮説と結果

分析の結果，市区町村の財政状況等や都道府県への歯科医師・歯科衛生士の配置など様々な要因を調整しても，「市区町村の歯科保健担当者」に常勤の歯科衛生士が配置されていること，そして「関連機関との連携」が多くなされることが，「効果的な歯科保健事業」の実施に関連することが明らかになりました。

### 【お問い合わせ先】

神奈川歯科大学 大学院歯学研究科

口腔科学講座 社会歯科学分野

教授 山本龍生

電話：046-822-8838

Eメール：yamamoto.tatsuo@kdu.ac.jp

## 効果的な歯科保健事業の条件は？ ～歯科衛生士配置で 1.3 倍，関連機関との連携で最大 7.3 倍～

### <背景>

国の調査によると国民の口腔の健康状態は経年的に改善しています。しかし口腔の健康状態には地域差があり、その差は拡大傾向にあると言われていています。口腔の健康の地域差を縮小するには、住民への歯科保健事業の直接の提供者である市区町村の役割が重要です。

これまで効果的な成人対象歯科保健事業を実施している市町村の特性はほとんどわかっていませんでした。そこで本研究では、全国市区町村の担当者が効果的と考える成人対象の歯科保健事業の有無に関連する要因を検討することを目的としました。

### <方法>

2012 年度に全国 1,742 市区町村の歯科保健担当者に調査票を郵送し、862 市町村から回答を得ました(回収率 49.5%)。そのうち過去 3 年間に効果(有病率の減少、健康行動実践者の増加、正しい知識を持つ者の増加等)のみられた成人歯科保健事業があったと回答した 354 市区町村と、なかったと回答した 437 市区町村を分析対象としました。

効果的な事業の有無と、市区町村における常勤の歯科医師・歯科衛生士の配置の有無、地域の関連機関(①住民、②地域歯科医師会、③企業、④地域包括支援センターや医療・介護・福祉施設)との連携の有無とその数(0~4)、健康日本 21 の成人歯科に関する目標値(①進行した歯周炎を有する人の割合、②定期的な歯科検診受診者の割合、③自分の歯を有する人の割合)の設定の有無とその数(0~3)、財政状況、人口当たり歯科医師数、人口密度(都市化度)との関連を検討しました。効果的な事業の有無と各項目について検討した後、47 都道府県における常勤の歯科医師・歯科衛生士の配置の有無を考慮し分析を行いました。

### <結果および考察>

歯科衛生士の配置や地域の団体・施設等との連携の数が増えるほど効果的な歯科保健事業有りとの有意な関連が認められました。(歯科衛生士の配置で 1.3 倍、連携施設1種類で 3.2 倍、2 種類 4.6 倍、3 種類 5.2 倍、4 種類で 7.3 倍)。これらの結果から、市区町村において効果的な成人対象歯科保健事業を行うためには、市区町村への常勤歯科衛生士の配置と、行政と住民、地域歯科医師会、企業、地域包括支援センターや医療・介護・福祉施設との複数の連携が重要であることが示唆されました。

### <研究の意義>

地域包括ケアの推進に向けて多部門連携の推進が叫ばれていますが、その重要性を実証的に裏付けた初期段階の研究といえます。歯科衛生士が不在の市町村に配置をしたり、常勤に近い形で歯科の専門家が支援を行ったりすることで、事業が推進しやすくなるかもしれません。また、住民主体の事業を企画したり、地域の歯科医師会、企業、地域包括支援センターや医療・介護・福祉施設との連携を通じた事業を企画したりすることで、効果的な事業が推進しやすくなるかもしれません。

### <論文発表>

Yamamoto T, Fuchida S, Aida J, Kondo K, Hirata Y: **Adult oral health programs in Japanese municipalities: factors associated with self-rated effectiveness.** The Tohoku Journal of Experimental Medicine 2015, **237(4)**: 259-266. (オープンアクセス)

### <謝辞>

本研究は厚生労働科学研究費補助金(H24-循環器等(生習)-一般-007)を受けて実施しました。記して感謝いたします。